

ヘルスケア・リート・ プラス

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：ヘルスケア+

2020年11月18日から2021年4月16日まで

第 **11** 期 償還日：2021年4月16日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託(リート)および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年4月16日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	10,750円09銭
純資産総額(償還日)	237百万円
騰落率(当期)	+13.5%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

基準価額等の推移



期首	9,472円
----	--------

償還日	10,750円09銭
-----	------------

騰落率	+13.5%
-----	--------

基準価額の主な変動要因(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、グローバル市場で上場しているヘルスケア関連の不動産投資信託証券およびヘルスケア関連の株式を主要投資対象として運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により、今後の景気回復期待から投資家心理が改善したことで、ヘルスケア・リート、ヘルスケア関連株式がともに上昇したこと
- 期を通じてみると、対円で米ドル高となったこと

1万口当たりの費用明細 (2020年11月18日から2021年4月16日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	47円	0.475%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,848円です。
(投信会社)	(16)	(0.167)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(29)	(0.294)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	47	0.475	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

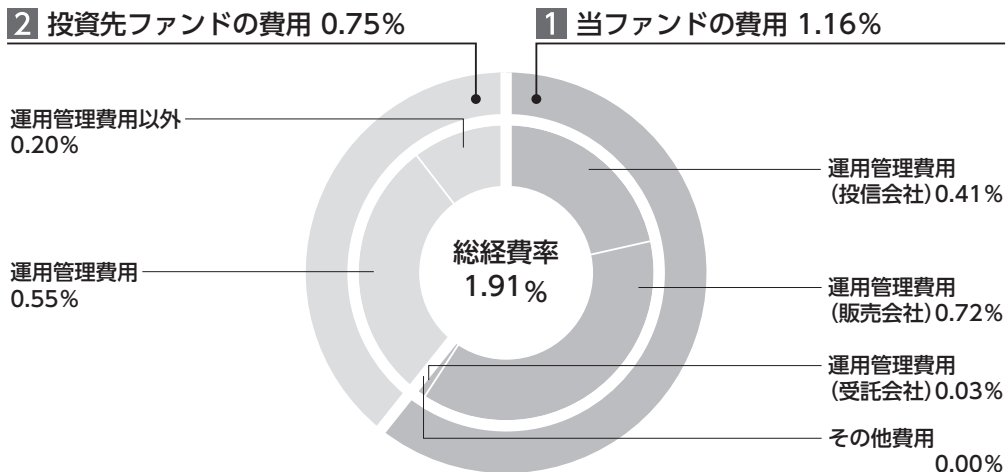
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	1.91%
1 当ファンドの費用の比率	1.16%
投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の各費用は、投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の「1万口当たりの費用明細」をもとに、委託会社が年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

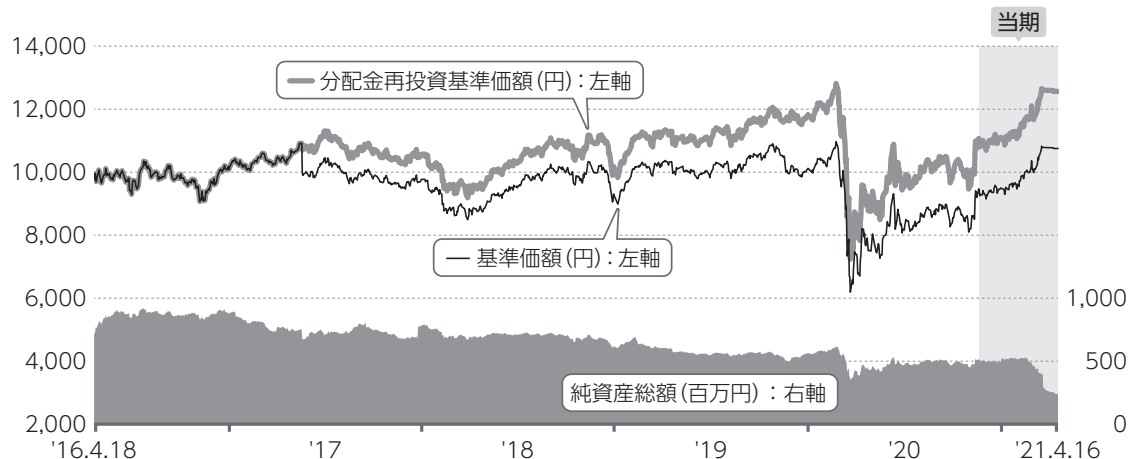
※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.91%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2016年4月18日から2021年4月16日まで)

最近5年間の推移



※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近5年間の年間騰落率

		2016.1.29 設定日	2016.11.17 決算日	2017.11.17 決算日	2018.11.19 決算日	2019.11.18 決算日	2020.11.17 決算日	2021.4.16 償還日
基準価額	(円)	10,000	9,339	9,576	10,000	10,000	9,472	10,750.09
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	819	108	680	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)		-	-6.6	10.9	5.6	6.9	-5.3	13.5
純資産総額	(百万円)	458	844	685	676	497	517	237

※2016年11月17日および2021年4月16日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2016年1月29日および2020年11月17日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

期を通じてみると、ヘルスケア・リート、ヘルスケア関連株式はともに上昇しました。為替市場は、米ドル高・円安となりました。

ヘルスケア・リート市場

ヘルスケア・リートは、期を通してみると上昇しました。

期初から12月末にかけて、ヘルスケア・リートは概ね横ばいとなりました。新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されたことなどが支援材料となる一方で、感染拡大が引き続き見られたことや、割安な銘柄が選好される中で一部ディフェンシブ性(景気変動の影響を受けにくいこと)の高い銘柄が売られたことなどが下落要因となりました。1月から償還日にかけて、ヘルスケア・リートは上昇しました。ワクチンの接種が進展したことで景気回復期待が高まったことが支援材料となりました。

当期のヘルスケア・リートの動きをブルームバーグREIT指数ヘルスケア(米ドルベース)でみると、9.4%上昇しました。

ヘルスケア関連株式市場

当期のヘルスケア関連株式も大きく上昇しました。一部銘柄の事業見通しに懸念が生じたことなどが嫌気されましたが、新型コロナ

ウイルスワクチンの接種が進展していることで、新型コロナウイルス関連以外で医療関連施設への需要が高まったことなどが支援材料となりました。

当期のヘルスケア関連株式の動きをラッセル3000ヘルスケア施設指数(米ドルベース)でみると、22.5%の上昇となりました。

為替市場

米ドル・円は期初から年末にかけては横ばいで推移しましたが、年明けから償還日にかけては、景気回復期待の高まりなどから、米ドルは対円で上昇しました。

当期の米ドル・円は、期首104円48銭から償還日108円72銭へと、4円24銭の米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

当ファンド

2021年3月中旬までは、「BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れました。3月中旬以降は、4月16日の償還に向け売却を行いました。

BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)

繰上償還のため、2021年3月に保有する全銘柄を売却しました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年11月18日から2021年4月16日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

繰上償還について

信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が10億口を下回る」状態が継続していることから、運用の基本方針に従った運用を続けることが困難となっています。

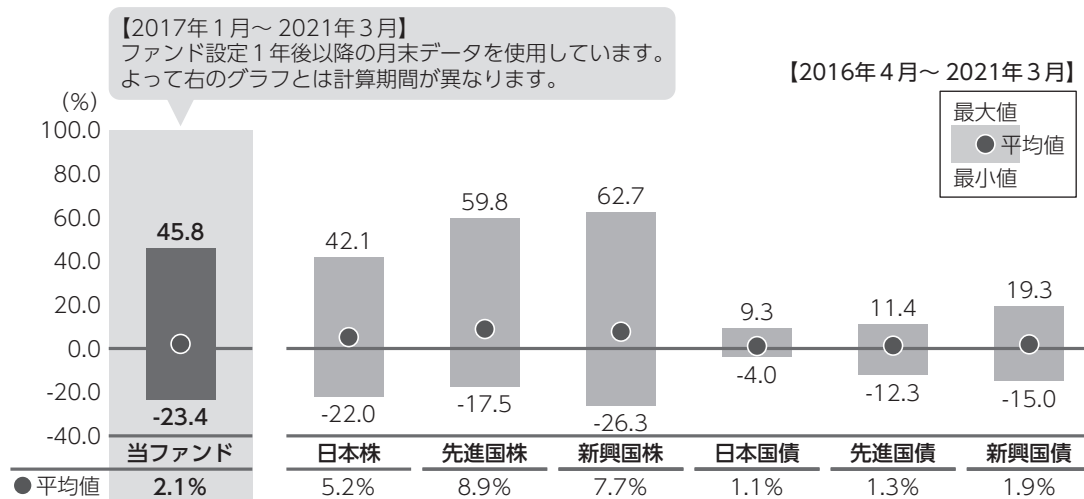
また、当ファンドが投資対象とする投資信託「BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」の運用会社であるBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社より、2021年4月13日をもって繰上償還する方針が示されました。そのため、信託期間中ではありませんが運用を終了させ、お預かりした資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって有利であると判断し、信託約款の規定に従い繰上償還の手続きを実施させていただきました。

法令および信託約款の規定に基づき、2021年3月16日に書面決議を行い、2021年2月12日現在の議決権を行使することができる受益者の方の議決権の3分の2以上に当たる賛成をもって可決されましたので、2021年4月16日をもって繰上償還となりました。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	2016年1月29日から2021年4月16日(当初、2025年11月17日)まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託(リート)および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用) BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当 法 ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、ヘルスケア施設に関連する世界各国の不動産投資信託(リート)および株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■実質的な運用は、世界各国のヘルスケアリートおよびヘルスケア株式の調査・運用に精通したBNPパリバ・アセットマネジメント・グループが行います。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として5月および11月の17日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイインデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

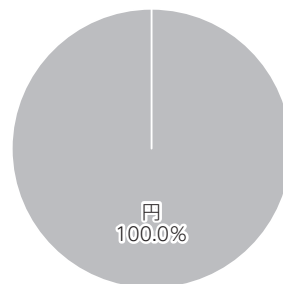
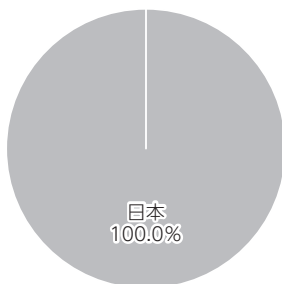
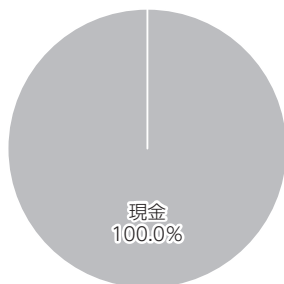
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2021年4月16日)

組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	237,974,200
受益権総口数 (口)	221,369,405
1万口当たり償還価額 (円)	10,750.09

※当期における、追加設定元本額は41,909,232円、解約元本額は366,709,530円です。

7 償還を迎えて

2016年1月29日に設定いたしました当ファンドは、2021年4月16日に信託期間を繰り上げ、償還となりました。

皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。